

年齢別発生状況

「50歳代」、「60歳以上」の死傷者数は、合計747人となり、前年よりも129人増加し、全体の55.0%を占め、依然として過半数を超えている。旅館業、小売業、社会福祉施設では、50歳以上の死傷者数の占める割合が60%を超え、高年齢労働者の災害発生率が高くなっている。

年齢別発生状況

